

## 第 4 学 年 ○○○○ 学 習 指 導 案

### 1 単元名 『人形飾り』PRプロジェクト ～伝えよう！人形飾り～

### 2 指導観

#### このような子どもたちだから

- 子どもたちは第3学年の「○○○○学習」において、PTAや地域の方々が、小学校や○○のまちをよりよくしていくためにどんな応援をしているか調べる学習に取り組んできた。この学習を通して、自分たちが地域の人たちとの関わりの中で生活していることを知ることができ、地域の人たちに感謝の気持ちをもったり、自分たちでできることを考え実行した。そして、4年生の「人形飾り」の学習では、GTから人形飾りの起こりを聞き、博多人形師さんや地域の人への指導を受け人形を作り、「人形飾り」に参加している。このような体験をしてきたことで、地域の事についてもっと調べてみたいという意欲が高まっている。
- 問題解決力の面では、学習の見通しの持ち方・追究の仕方・表現方法等を学び学習の流れは理解している。しかし、課題追究のために調べたり、自分で発表原稿を書いたりすることにやや不安をもっている子どもたちもいる。そこで4年生で、解決の見通しをもって追究活動を行うことで、一人一人が自信をもって活動し、適切にまとめる力を付けたいと考える。
- 人と関わる力の面では、昨年の「○○おうえん隊」の学習では、地域の人たちの自分たちに対する思いや願いに気付くことができた。また、同じ課題を持つ子どもたちとグループを組み、見学の計画を立てて調べる・まとめる・発表する・発信する活動を行っている。友だちとの関わりの中で、自分の調べたことをはっきりと言える子どもは増えてきた。しかし、分かりやすく話すことに不安を持っている子どもたちは、友だちから質問されると発言にとまどってしまうこともある。また、自分と相手との発表内容の共通点や違いを聞き比べることが不十分なために課題に対する考えを深め合うところまでには高まっていない。

#### このような学習で

- 校区のHH地区では、昔から7月23日のお地蔵様の縁日に「人形飾り」が毎年行われている。「人形飾り」の起こりは室町時代の頃と言われている。現在では参加する子どもも少なくなり、「人形飾り」があることを知らない子どもも多い。
- そこで、「人形飾り」を教材化することを通して次のような学習が期待できる。
- ○○校区に昔から伝わる「人形飾り」が100年以上続いているのはなぜだろうという課題をもち、「人形飾り」に取り組んでいる地域の人との関わり方について追究する学習を展開していくことで問題解決力を高めることができる。
  - 昔から伝わる「人形飾り」に取り組んでいる地域の人と関わることで、その人たちの思いや願いにふれ、これからの時代を生きる自分たちへの示唆を受けることができる。また、友だちと一緒に追究活動をしたり、調べた内容や考えを交流したりすることで、相手のよさを学び自分を振り返ることができる。
  - 自分たちが学習した事について学びの振り返りを行い、3年生や友だち、お家の人や地域の人たちに発信することで、自分の学習の成果を実感し自分に自信をもったり成長を感じ取ったりすることができる。

## このような指導を

### (1) 問題解決力を育てるために

- 社会科の学習とつなげたりG Tの話を書いたり「人形飾り」体験をさせたりしながら「どうして、何百年も昔の事を続けていたり、語りついでりするのだろうか」という共通の課題意識をもつことができるようにする。
- 「人形飾り」に取り組んでいる人たちの「人形飾り」への関わり方について課題をもち追究していく。
- 一人一人に自分の課題や追究の方法を明確にもたせるために、〇〇〇〇ノートに「どんな事を」「どんな方法で」「どのように追究していく」等を書かせ、主体的に追究活動ができるようにする。
- G Tに話をしてもらった場合には、前もってG Tに、子どもたちの実態・学習内容・指導内容について伝えておき、子どもたちに話してもらった内容等について詳しい打ち合わせしておく。また、子どもたちには、事前に話を聞く観点をしっかりもたせておく。
- 子どもたちが調べ学習で使う資料については、文言が難しいので、教師が分かりやすい言葉で書き直しておく。
- 自分の活動を振り返りよりよいものにするために、追究活動において中間交流会を設ける。同じ課題グループの中でそれぞれが調べたことを交流し、自分の調べたことを付加修正する。その際、事柄や仕事の内容だけの追究にならないように、「それぞれのG Tの人たちの思いや願い」に目を向ける工夫をする。

### (2) 人と関わる力を育てるために

- 毎時間の終わりに、〇〇〇〇ノートに自分の課題追究への取り組みの自己評価をさせたり、お互いのがんばりを認め合ったりする場を設定する。
- 「どうして、何百年も昔の事を続けているのだろうか。」という課題に対する自分の考えの深まりを実感させるために、初め・中・終わりに自分の考えと取り組みの振り返りをさせたり、課題が同じグループや違うグループと交流させたりする。
- 自分の取組への振り返りや自分の考えの広がりや深まり、自分の成長などの自己理解力に関する評価基準を設け一人一人の見取りをし、支援の方法を工夫する。
- 地域の人や3年生に伝える場面では、相手意識をもった発信の仕方を工夫する。

## 3 単元目標

- 〇〇校区に昔から伝わる「人形飾り」に関わっている人について課題を設定し、見通しをもって主体的に追究し、自分の調べたり考たりしたことを相手に分かりやすく伝えることができる。  
【問題解決力】
- 〇〇校区に昔から伝わる「人形飾り」に関わっている人についての追究を通して友だちや地域の人々との関わりを広げ・深めるとともに、自己への気づきを深めることができる。  
【人と関わる力】
- 〇〇校区に昔から伝わる行事を次の世代に伝えようとしている地域の人々に積極的に関わり、人々の思いや願いにふれる中で、〇〇の人のすばらしさや〇〇校区のよさを感じることができる。  
【地域への見方・考え方】

4 単元計画(43時間)

| 過程  | 学習活動と内容(配時)   | 手 だ て  | 評価規準  |
|---|---|--|---|
| は<br>っ<br>け<br>ん<br>す<br>る<br>(<br>8<br>時<br>間) | <p>1 GTの話聞き学習の課題を設定する。②</p> <p>(1) GTから「人形飾り」について話を聞く。<br/>・「人形飾り」のおこり。<br/>・「人形飾り」がどのように行われているのか。<br/>(2) GTの話整理して学習課題を決める。</p>  | <p>○ GTと事前に打ち合わせを行い、「人形飾り」のおこりと現在のような「人形飾り」になっていった経緯について話してもらおうようにする。</p> <p>○ 「山笠」が760年も続いているのはいろいろな人の関わりがあったことに気づき、「人形飾り」もいろいろな人が関わっているのではないかという予想をもてるように「山笠」の学習を想起する。</p>                       | <p>○ 「人形飾り」に興味・関心をもつことができる。</p> <p>○ 「博多祇園山笠」と「人形飾り」の共通点を見つけることができる。</p>                            |
|   | <p>100年もの長い間「人形飾り」が続いているのはなぜだろう。</p>  | <p>○ 子どもたちは、地域の行事に関わっている人についてはほとんど知らないので教師から知らせるようにする。</p>   |   |
| こ<br>だ<br>わ<br>る<br>(<br>9<br>時<br>間)           | <p>2 人形作り体験をする。③</p> <p>(1) 「人形飾り」の人形作りをする。<br/>(2) 「人形飾り」に参加する。<br/>(夏休みのため、参加できる児童だけ)</p> <p>3 課題を設定する。③</p> <p>(1) 学習計画を立て、見通しをもつ。<br/>(2) 自分の課題を決め、グループを作る<br/>・自治会長さんの関わり方<br/>・人形師TTさんの関わり方<br/>・各家庭の関わり方<br/>(3) グループで追究計画を立てる。<br/>(4) 追究内容や方法について話し合う。</p> | <p>○ 作品のイメージをもたせるために昨年の4年生の子どもたちが作った作品を見せる。</p> <p>○ 意欲をもって課題追究するために、学習の見通しをもたせるようにする。</p> <p>○ 課題を決めるために「人形飾り」のVTRを見せたり、地域の人が活動している写真を提示したりする。</p> <p>○ グループの話し合いが上手く進められるように「話し合いの手引き」を用意する。</p> | <p>○ 自分の課題をもつことができる。</p> <p>○ グループで追究する内容を決め計画を立てることができる。</p>                                       |
|   | <p>4 課題をもとにグループに分かれて追究する。⑨</p> <p>(1) 計画をもとに、個人で調べる活動を行う。<br/>(2) 中間交流会Iを行い、追究の方法や内容について話し合う。<br/>(3) 見直したことをもとに、再度追究活動をする。</p>   | <p>○ 課題に応じて効果的な追究を行うことができるように、活動時間を確保し、活動内容を見取り、個別に助言を行う。</p> <p>○ 自分たちの調べる内容の足りない点について気付けるように各グループで、調べている内容を発表し合う。</p> <p>○ GTに前もって打ち合わせをして、子どもたちのインタビューの内容について知らせておく。</p>                        | <p>○ 自分の課題をもとに進んでインタビューすることができる。</p> <p>○ 自分たちの研究内容の見直しをすることができる。</p> <p>○ 調べたことの付加修正をすることができる。</p> |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| <p>まとめる（10時間）</p>                                  | <p>5 追究したことをまとめる。⑤<br/> (1) クラスの友だちにわかりやすいまとめ方を考える。<br/> (2) 課題やまとめ方に応じて追究したことを表現物としてまとめる。</p> <p>6 中間交流会Ⅱを行い、次の交流会に生かせるように次の事について話し合う。②<br/> (1) 同じ課題グループで交流をし考えを深める。<br/> ・G Tの思いや願いについて<br/> (2) 発表練習をする。<br/> ・相手に分かりやすい声の大きさや間の取り方<br/> ・表現物や具体物の活用の仕方について</p> <p>7 「伝えよう！人形飾り」交流会を行う。②<br/> (1) 異なる課題グループで、次の事について交流会を行う。<br/> (2) 各グループの発表を聞き、「人形飾り」が100年以上続いているわけについて、自分の考えをもつ。</p> <p>8 「人形飾り」が100年以上続いているわけについて話し合う。①<br/> <b>【1組本時】</b></p> | <p>○ 表現物を作るときには、参考として昨年度の4年生がまとめた表現物を提示する。<br/> ○ うまくまとめられない子どもには、どこの時点でつまづいているのかを見取り、助言する。</p> <p>○ 自分たちの表現物や発表原稿を読み合いまとめ、G Tの思いや願いについて考えるように助言する。<br/> ○ 発表の仕方や表現物の使い方の参考として昨年の4年生の発表V T Rを準備する。</p> <p>○ 共通点等を見つけやすくするために、6グループを1度に発表させず、3グループずつ発表するよう交流会を設定する。</p> <p>○ 100年以上続いているわけについてそれぞれのG Tの思いや願いに着目し考えるようにする。</p> | <p>○ 調べたことや分かったことを友だちと協力して、相手に分かりやすい表現物にまとめることができる。</p> <p>○ 課題についてのまとめやG Tの思いや願いについて、自分の考えが言える。<br/> ○ 発表の仕方のポイントに沿って発表することができる。</p> <p>○ 自分たちと他のグループとの考えの共通点等に気付くことができる。<br/> ○ 100年以上続いているわけについて自分の考えをもつことができる。</p> |
| <p>昔からの伝統を守り伝えていこうとする地域の方の思いや願いがあるため100年以上続いた。</p> |  |  |  |
| <p>つたえる（16時間）</p>                                  | <p>9 人形飾りPRプロジェクト隊を作り「人形飾り」を地域の方々へ伝える活動をする。<br/> (1) 今までの学習を振り返り、〇〇校区に住む一員として自分ができる事を考える。①<br/> (2) PR 隊としてできることを考える。①<br/> ・ 3年生や地域の方に自分たちが調べた事を発表する。<br/> ・ 自分たちの考えた人形を作る。<br/> ・ パンフレットや新聞を作る。<br/> ・ アンケート用紙を作る。<br/> (3) 自分たちの考えたPR活動の準備をする。⑨<br/> (4) 各グループのPR活動の交流をする。 <b>【2組本時】</b>②<br/> (5) PR活動をする。②<br/> (6) 自分たちの活動の評価をして〇〇校区の見方・考え方を深める。①</p>  | <p>○ どんな方法でどんなふうに「人形飾り」を多くの人たちに伝えるか考えるようにする。<br/> ○ 公民館の館長さんから「人形飾り」PRの依頼をもらい活動への意欲を高める。</p> <p>○ 達成感を味わうことができるように3年生や地域の方に評価をしてもらう場を設定する。<br/> ○ 子どもたちの活動の価値づけをしてもらうためにアンケートを書いてもらう。<br/> ○ 自分たちの活動を見守ってくれる〇〇校区の人たちのやさしさに気付くようにする。</p>  | <p>○ 〇〇校区の一員としてこれからの自分の行動について考えることができる。<br/> ○ 自分たちの考えた方法で人形飾りのPR活動をすることができる。<br/> ○ 自分の役割分担を明確にし、製作したり説明を書いたりすることができる。</p> <p>○ 自分の成長に気付く、活動に対する満足感をもつことができる。</p>   |

## 第4学年〇組本時指導案

### 1 本時 (27/43)

#### 2 本時の目標

- 交流活動を通して、地域の方々の〇〇に昔から伝わる「人形飾り」を大切に守り、受け継いでいるすばらしさに共感し、自分たちの地域への関わり方への意欲をもつことができる。

#### 3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、『なぜ、「人形飾り」が100年以上続いているのか』という全体の学習課題をもち、学習課題を追究するために、「責任者のYYさん」「実行委員のIIさん」「博多人形師のTTさん」「家で人形飾りをしているKKさん・IIさん」「公園で人形飾りのお手伝いをしているTTさん」の6グループに分かれ、追究課題を決め調べ活動を行ってきている。また、夏休みには多くの子どもたちが実際に「人形飾り」に参加し、体験している。前時の中間交流会では、それぞれのグループの発表を聞き、一人一人が「人形飾り」が100年以上続いているわけについての考えをもっている。

本時は、一人一人の学習課題に対する考えを交流し、地域の人々が〇〇に昔から伝わる「人形飾り」の伝統を大切に守り受け継いでいることや地域の人々が「人形飾り」を通して人と人とのコミュニケーションを図ろうとしていることに気付かせる。そして、子どもたちに地域の一人として自分ができることをしようという思いをもたせることをねらいとしている。

まず、「人形飾り」が100年以上続いているわけについて「人形飾り」に関わっている人の思いや願いを根拠に発表させる。次に、友だちの発表を聞いて気付いたことや共通点を話し合わせるにより地域の方への思いや願いに共感させる。また、これからも人形飾りが続いていくかどうかを話し合わせることによって、自分たちの地域への関わり方について考えることができるようにする。最後に、伴さんから自分たちの取組の評価や地域へのかかわり方への願いを話してもらうことにより、地域への関わり方にも目を向けさせるようにする。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア グループの発表が想起できるようにグループ発表の表現物を掲示しておく。
- イ 自分たちの質問に答えてもらったそれぞれのGTの「人形飾り」への思いや願いについて、考えをもって本時に参加できるようにする。
- ウ 全体で交流する中で、「人形飾り」への関わり方の違うGTの思いや願いの共通点を出し合い、関わり方は違っても同じ思いで人形飾りを守っていることを理解し、「人形飾り」が100年以上続いているわけを考えさせる。
- エ これから、「人形飾り」は続いていくのだろうかという発問をすることで、自分たちの関わり方について考えさせるようにする。
- オ BBさんに話を聞いてもらい、自分たちの調べたことに対する価値付けをしてもらうことで自分たちの活動の取り組みのよさに気づき、次の活動への意欲・関心を高めることができるようにする。

#### 4 準備

【教師】 掲示物、見取り表

【児童】 掲示物、〇〇〇〇ノート、振り返りカード

5 展 開

| 学 習 活 動 と 内 容  | 支 援   |
|--|---|
| <p>1 それぞれのグループの課題のまとめを振り返る。</p> <p>2 めあての確認をする。</p>  | <p>○ 今までの活動のよさを賞賛し、本時学習への意欲を持つようにする。</p> <p>○ それぞれのグループの発表が想起できるように発表で使った資料を掲示する。</p>   |
| <p>人形飾りが100年以上続いているわけを、調べたことをもとに話し合い、自分の考えを見直そう。</p>   |   |
| <p>3 「人形飾り」が100年以上続いているわけを話し合う。</p> <p>(1) 人形飾りに関わっている人の思いや願いについて話し合う。</p>   | <p>○ 自分の考えをもって話し合えるように、前時に○○○○ノートに書いた、「人形飾り」が100年以上続いているわけを振り返るよう助言する。</p> <p>○ それぞれのGTの思いや願いの共通点に気付かせるために、出てきた意見を板書で整理する。</p> <p>○ 地域の人の思いや願いと結びつけながら考えるように助言する。</p> <p>○ 続いていく、続いていかないという二つの立場から話し合いを仕組む。</p> |
| <p style="text-align: center;">予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人とのコミュニケーションの場になってほしい。</li> <li>・ 子どもたちを地域で見守っていききたい。</li> <li>・ 人形飾りがずっと続いていってほしい。</li> <li>・ 昔から続いている伝統的なことだからこれからも続けていききたい。</li> </ul>   |   |
| <p>(2) これから「人形飾り」が続いていくかどうかについて話し合う。</p>   |   |
| <p style="text-align: center;">予想される考え</p> <p>〔続いていく〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちが大人になってあとをつぐ。</li> <li>・ 自分たちが地域の人たちの思いや願いを伝えていく。</li> </ul> <p>〔続かない〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たいへんなことだから。</li> <li>・ あとをつぐ人がいない。</li> <li>・ 「人形飾り」を知らない人がいるから。</li> </ul> |   |
| <p>「人形飾り」は昔から続いている伝統的なことだから守っていききたいという地域の人の強い願いがある。その願いを受け継いでいる人がいる。だから100年以上も続いている。これからも人形飾りを続けていくために、自分たちも関わっていききたい。</p>   | <p style="text-align: center;"><b>評価規準</b></p> <p>地域の人たちの「人形飾り」に対する思いや願いが分かり、自分の関わり方を考えることができる。</p>   |
| <p>4 GT（BBさん）の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちの考えについての感想</li> <li>・ 地域への関わり方のヒントになること</li> </ul> <p>5 本時学習を振り返り、振り返りカードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えが深まったこと</li> <li>・ 自分ができること</li> </ul> <p>6 次時学習について知る。</p>                                      | <p>○ 子どもたちの取り組みについての評価や地域への関わりについての願いを話してもらうようにする。</p> <p>○ 新しい発見や気づき、自分たちがこれからできることについて考えるなどの書く観点が明記された振り返りカードを準備する。</p>   |

# 第4学年〇組本時指導案

## 1 本時 (40/43)

### 2 本時の目標

- PR隊の活動内容を友だちや地域の方に見てもらい助言や評価を聞くことで、発信への意欲を高めることができる。

### 3 本時指導の考え方

本時までに子どもたちは、『なぜ、「人形飾り」が100年以上続いているのか』という課題について追究し、100年以上続いているのは地域の人が〇〇に昔から伝わる「人形飾り」の伝統を大切に守り受け継いでいることや地域の人が「人形飾り」を通して人と人とのコミュニケーションを図ろうとしていることに気付いている。また、子どもたちは、これからさらに「人形飾り」が続くためには、自分たちも関わることが必要だと感じている。自分たちができることとして、多くの方々に「人形飾り」のPRをすることが大切だと考え、6グループに分かれて様々な方法（JR構内・公民館・SS歯科医院にパンフレットでPR、グループホーム〇〇で紙芝居でPR、3年生に掲示物でPR、アクロスの〇〇〇〇学習紹介コーナーの掲示物でPR）で発信するための準備をしてきている。今回の発表会では、十分な交流活動を行うために6グループを前半と後半に分けて発表するようにし、グループ分けについては発表方法が重ならないようにしている。すでに、前時学習で前半3グループは発表している。

本時は、後半グループの考えた「人形飾り」のPRを友だちやGTから見てもらい、助言・評価をしてもらうことで、自信をもってPRする意欲を高めることがねらいである。

まず、前時に発表したグループの内容を振り返らせ、本時学習の見通しをもたせる。次に、後半グループのPR内容を発表させ、発表内容に対して友だちから感想を発表させる。最後に、GTから自分たちの取組や発表内容について評価や助言をしてもらうことにより、達成感を味わわせるとともに3年生や地域の人たちに自信をもって発信する活動の意欲を高めさせる。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 学習の振り返りができるように学習活動の足跡を残した掲示物を用意する。
- イ グループ全員がPR活動に関われるように、役割分担をはっきりさせておく。
- ウ パンフレットや掲示物を紹介するグループは、だれに対して発信しようとしているのかを意識できるように、工夫した点を中心に発表するよう助言しておく。
- エ 友だちの発表のよい点を見つけやすくするために評価や助言のポイントを提示する。
- オ 活動の取組のよさに気づき、次の活動への意欲・関心を高めることができるようにするために、GTに発信内容を前もって伝えておき、価値付けをしてもらうための打ち合わせをしておく。

## 4 準備

- 【教師】 学習活動掲示物、プロジェクター
- 【児童】 掲示物、〇〇〇〇ノート、振り返りカード

5 展 開

| 学 習 活 動 と 内 容  | 支 援   |
|--|---|
| <p>1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>   | <p>○ 本時が前時の続きであることを確認するために、前時の3グループの発表内容を想起する。</p>  |
| <p>「人形飾り」PR隊として、自分たちのできることを友だちやGTに発表しよう</p>  |   |
| <p>(1) 後半3グループが発表する。<br/>           〈予想されるPR内容〉<br/>           ・「人形飾り」の起こり<br/>           ・「人形飾り」の様子<br/>           ・「人形飾り」に関わっている人の思いや願い<br/>           ・「人形飾り」に参加して<br/>           【JR・公民館・病院PR隊】(公民館は本時発表)<br/>           「人形飾り」の飾り物とパンフレットでPR<br/>           【3年生PR隊】(本時発表)<br/>           「人形飾り」の飾り物と掲示物でPR<br/>           【グループホーム〇〇PR隊】(本時発表)<br/>           「人形飾り」の飾り物と紙芝居でPR<br/>           【〇〇〇〇学習紹介コーナPR隊】(前時発表)<br/>           「人形飾り」の飾り物と掲示物でPR<br/>           (2) グループの発表を聞いて感想を発表する。<br/>           〈予想される感想〉<br/>           ・「人形飾り」の様子がよく分かる掲示物を使った発表だったよ。<br/>           ・紙芝居にすると「人形飾り」の起こりがよく分かる。<br/>           ・パンフレットに自分たちの思いや願いを書いたのがよい。</p> | <p>○ 発表する際には、掲示物を使いながらわかりやすく発表するように助言しておく。</p> <p>○ 全員がPR活動に関われるように役割分担を事前に確認しておく。</p> <p>○ パンフレットや掲示物でPRするグループは自分たちのPRポイントがよくわかるように発表するよう助言しておく。</p> <p>○ 3年生PR隊については、来年学習するのに役立つような内容をPRするよう助言しておく。</p> <p>○ 紙芝居をするグループはPRしたい部分を紙芝居で表現し、その他のことについては発言で補足するよう助言しておく。</p> <p>○ 友だちの発表のよい点を見つけやすくするために評価・助言のポイントを提示する。</p> |
| <p>3 GTの助言や感想を聞く。<br/>           〈予想される発言〉<br/>           ・地域の人たちの思いや願いをよくくみ取ってくれているね。<br/>           ・「人形飾り」をPRしてくれて、地域の人たちは喜んでいよ。<br/>           ・「人形飾り」がこれからも続いていくと思うとうれしいよ。</p>  | <p>○ 子どもたちのがんばりや次時への意欲が高まるような評価や価値付けをしてもらえるよう、事前に子どもたちの発表内容を伝える打ち合わせをしておく。</p>  |
| <p>4 本時学習を振り返り、振り返りカードを書く。<br/>           〈期待される子どもの考え〉<br/>           ・「人形飾り」をもっと多くの人に伝えるために、本番はもっと大きな声で発表して、自分たちの思いや願いを伝える。<br/>           ・友だちやGTから、自分たちの発表のよいところを言ってもらったから自信をもつことができた。<br/>           ・PR活動をすることにより、「人形飾り」の事をたくさんの人に知ってもらい、これからも「人形飾り」が続いていくとうれしいな。</p>  | <p><b>評価規準</b><br/>           相手意識をもち(友だちやGT)自分たちのPRポイントを意識して発表することができる。</p>  |
| <p>5 次時の学習について知る。</p>  |   |